

令和7年度 鵠川むかわ町水害タイムライン運用訓練



訓練の様子(むかわ町災害対策本部)

今年度の出水期を前に、鵠川むかわ町水害タイムライン試行版(令和元年5月策定)を基に、主自治体であるむかわ町および、各関係機関の職員がタイムライン運用における認識の共有と習熟の向上を目的とした参画機関全体による運用訓練を実施しました。訓練では、鵠川むかわ町水害タイムライン表の記載内容や運用手順、情報の共有方法等について確認を行いました。

【実施日時】 令和7年7月24日(木)13:30～16:30

【開催形式】 オンライン形式(Microsoft Teams)・一部対面形式

【参加機関】 むかわ町

むかわ町社会福祉協議会

室蘭開発建設部

室蘭地方気象台

北海道胆振総合振興局

北海道森林管理局 胆振東部森林管理署

鵠川農業協同組合

胆振東部消防組合

北海道警察札幌方面 苫小牧警察署

陸上自衛隊第7師団第7特科連隊第2特科大隊

東日本電信電話株式会社 北海道事業部

北電ネットワーク株式会社 富川NWC

とまこまい広域農業協同組合

計 13機関 56名

開 会 挨 拶

むかわ町広報防災対策室 関根室長

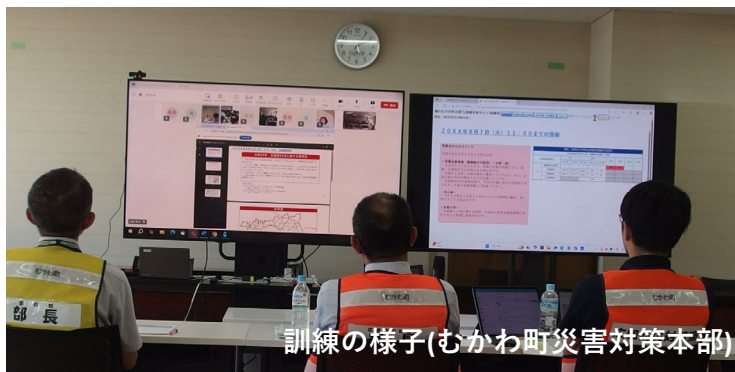
「すでに出水期に入っている中で、先週は9年ぶりに北海道へ台風が上陸する事態もあった。これから台風シーズンの本番を迎えるにあたり、異常気象とも言える状況の中で、天候や気象を予測しにくい状態が続くと思われる。今日は、そうした現状を踏まえ、私たちにとっても全く想定されていない状況下において本番での対応をイメージしながら緊張感を持って、訓練に臨みたいと思う。」



むかわ町 関根室長

訓練

訓練では、タイムラインのステージ1がすでに立ち上がっている場面から始め、穂別水位観測所で「氾濫危険情報」が発表されるまでをシナリオに沿って進行了ました。付与された状況や発表情報を訓練用の情報共有サイトで確認しつつ、各関係機関はタイムライン表の記載内容に基づき、必要な情報伝達を実際と同じ方法で実施しました。さらに、行った対応や得られた情報を情報共有サイトのメッセージ機能を使って記録し、全機関で共有しました。

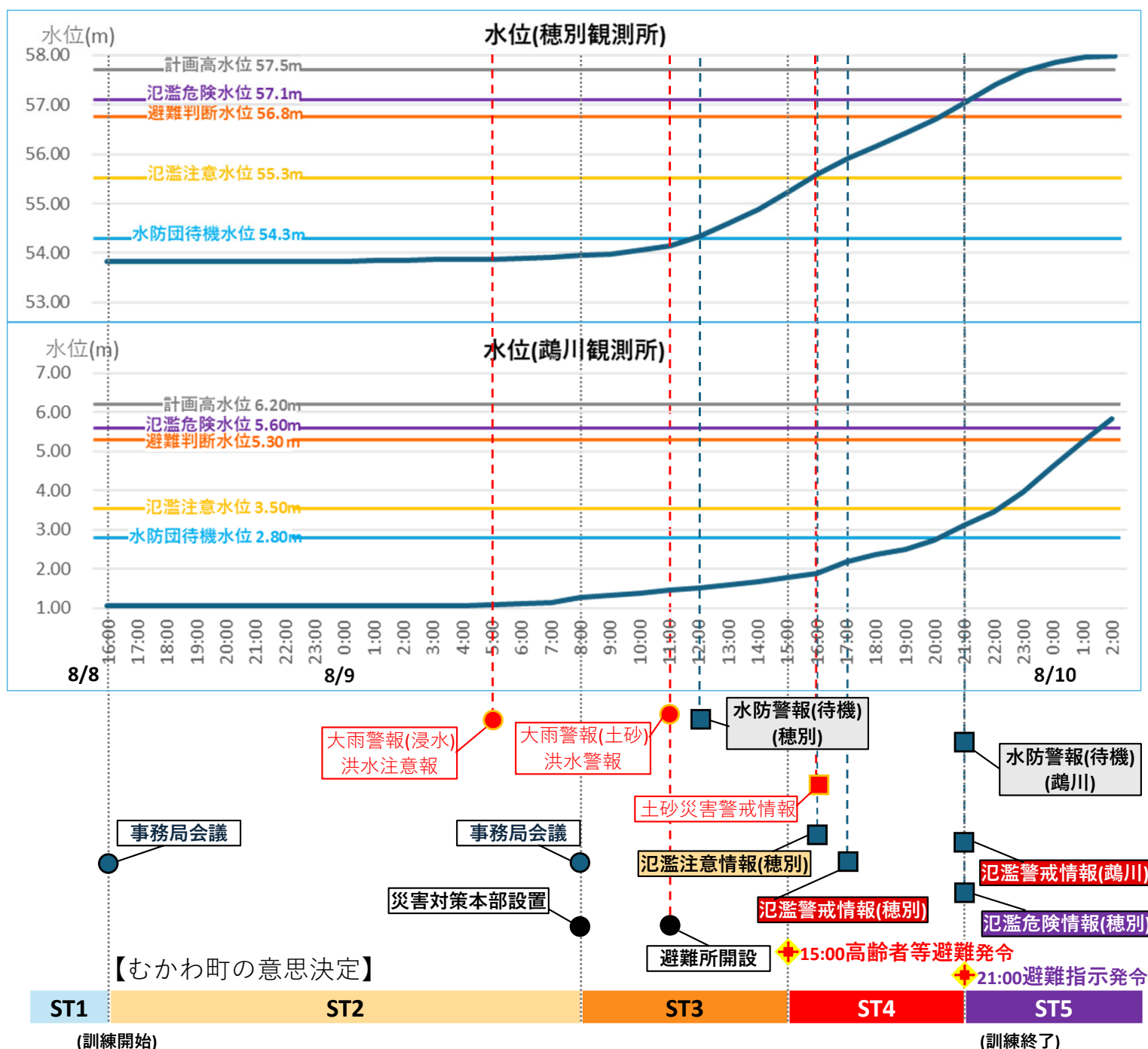


訓練の様子(むかわ町災害対策本部)



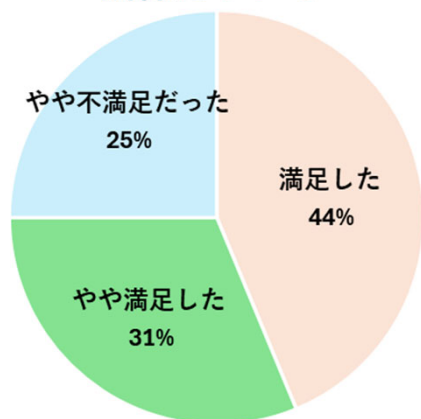
訓練の様子(別会場)

訓練シナリオとむかわ町意思決定の結果



訓練アンケート結果より

訓練について



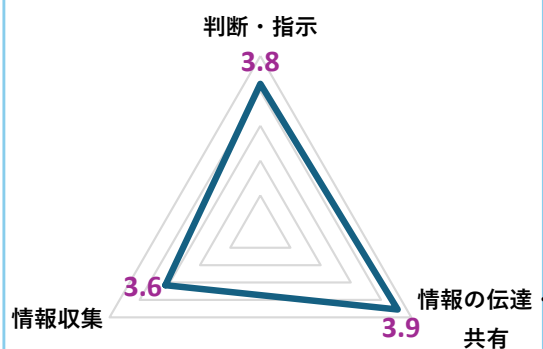
満足・やや満足と答えた理由 (回答より一部抜粋)

- ・タイムラインに沿った訓練により、実施すべき内容を再確認することができた。
- ・災害情報の共有により、先を見込んだ防災行動の確認ができた。
- ・災害対策本部が中心となり、各機関が連携していたので有意義な訓練であったと思う。

やや不満足と答えた理由 (回答より一部抜粋)

- ・図上訓練の訓練時間が長く感じた。訓練説明の時間を短くしたり、訓練内容を短くした方が良いと思う。
- ・内部協議の状況が多かったと思います。

自己評価の全体平均(5段階評価)



訓練で見つかった課題や改善が必要な点 (回答より一部抜粋)

- ・タイムラインの整備により各機関の基本行動は確認・共有できたものの、対応決定の議論に時間を要し、想定していた訓練内容に対して、途中で終わってしまったように感じた。
- ・避難指示が出される前に各地区の避難所が開設されているのか情報共有が必要。
- ・事務局会議の内容と町内での検討事項の線引きは進行するうえで必要に感じました。
- ・本来の災害派遣要請「むかわ町」⇒「道庁」⇒「陸上自隊」の流れが省略されていたため、誤解が無いよう認識の統一が必要

情報共有サイトのメッセージを活用した情報共有について (回答より一部抜粋)

- ・メッセージ機能は操作が簡単で、関係機関が一斉に情報共有できるため、大変有効であると感じた。
- ・気象情報等の付与情報に対して、段階毎の行動を確認できたこと。また、他機関のリアルな状況が分かり良かった。
- ・「情報共有サイト」の使用を前提としているように感じたが、同サイトが使用できない場合についても訓練した方が良いと思う。
- ・情報がどんどん埋もれてしまい知りたい情報を見逃す事がありました。今がどのステージなのかが分かりづらかったです。
- ・メッセージ内容に開設された避難所及び被害発生場所の細部位置(施設名称、緯度・経度等)の記載があると、情報共有が容易になるかと考えます。

講 評

近年「温暖化」と言われる中で、北海道でも12時間に200mmを超えるような大雨が各地で発生しています。今回の訓練シナリオを上回る事態が起こる可能性もある中で、地域住民や自らの命を守るために、ぜひタイムラインを活用して防災対応に取り組んでいただきたいと思います。

そのためには、タイムラインをより実用的なものへとブラッシュアップしていくことが重要です。本日の訓練を通じて、シナリオのような状況下で「本番でも適切に対応できるのか」「この人数で対応できるのか」など、気づいた点をアンケート等に率直に記載し、フィードバックしていただければと思います。



志田アドバイザー